

# みんなで徹底！A群溶血性連鎖球菌（溶連菌）感染症を予防しよう！ 丹南地区では**警報レベル**で流行中（第16週 4/13～4/19時点）

## どんな症状が出るの？

突然の発熱、のどの痛み、頭痛、身体がだるいなどの症状が特徴です。いちご舌が現れその後にお腹から全身にかゆみと肌にぶつぶつが広がることがあります。幼児から学童に多い感染症です。



## なぜ感染してしまうの？

感染した人のせきやくしゃみのしぶきに含まれる菌を、口や鼻から吸い込むことで起こります。また、菌が付着した手で口や鼻などの粘膜に触れ、菌が体内に侵入することでも起こります。



## かからない・うつさないためには？

- ✓流水・石けんでこまめに手洗い・うがいをする
- ✓マスク、咳エチケット、こまめに換気をする
- ✓手やドアノブ、手すりなどよく触る場所をアルコール消毒する



※有効なワクチンはありません。症状があれば早めに医療機関へ

## 登校・登園はいつから？

一般的に抗菌薬を飲んで24時間を過ぎると感染力はなくなります。登校・登園の可否については主治医の判断をご確認ください。

出典：厚生労働省 HP、国立健康危機管理研究機構 HP、『子どもの感染症と予防接種の手引き第3版』

公立丹南病院  
感染管理認定看護師 遠藤 築 氏

## 感染管理認定看護師からのアドバイス

### 感染対策のポイント

手洗いや咳エチケットが感染予防に有効とされています。最近、暖かくなってきてマスクを付けにくいと感じる方も多いのではないのでしょうか？今回は、咳エチケットについて説明いたします。



### 咳エチケットとは？

感染症を他人に感染させないために、咳・くしゃみをする際、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえることです。かぜ症状等がある人がマスクを装着することも咳エチケットです。



### まめ知識 ～溶連菌感染等で処方される抗菌薬について～

抗菌薬とは、細菌の増殖を抑えたり殺したりする薬の総称で、様々な種類があります。抗菌薬の不適切な使用が原因で、抗菌薬の効かない『多剤耐性菌』が生み出されており世界的に問題視されています。勘違いされがちですが、**かぜ（ウイルス）に抗菌薬は効きません。**



**私たちができること** 『処方された抗菌薬を飲み切る』『抗菌薬を他人にあげない』『自己判断で服用しない』

もっと詳しく知りたい方は、次の国立健康危機管理研究機構のサイトをご覧ください！

A群溶血性連鎖球菌

